

平成21年12月11日

平成22年10月期(当期)目標について

当社は本日、平成21年10月期の決算短信を発表致しました。
同決算短信において平成22年10月期(当期)の連結及び個別業績予想を発表させて頂いております。
下記に、この予想に関する追加説明をさせていただきたく存じます。

記

1 平成22年10月期連結業績予想の内容

	上期 (平成21年11月1日～ 平成22年4月30日)	下期 (平成22年5月1日～ 平成22年10月31日)	通期 (平成21年11月1日～ 平成22年10月31日)
売上高	8,300百万円	10,600百万円	18,900百万円
営業利益	△680百万円	680百万円	0百万円
経常利益	△900百万円	500百万円	△400百万円
当期純利益	△950百万円	450百万円	△500百万円

2 予想のポイント

- ① 上記の通り、第2四半期累計期間(いわゆる上期)と第3及び第4四半期合計期間(いわゆる下期)の業績に大きな差があり、営業利益が赤字の上期に対して、下期は黒字に転換する予想となっております。
- ② これは、上期が銀座本店の改装工事期間中にあたり、仮設店舗を設けるつもりではございますが、売上の大幅な減少が予想されることに対して、下期からは、フラッグ・シップ店舗であるその銀座本店がリニューアル・オープンして売上に寄与するためです。
- ③ また、今年9月に発表しました新CI導入によるマーケティング戦略の見直しに加えまして、11月に就任発表いたしましたクリエイティブ・ディレクターを中心とした新商品の開発を開始しており、下期からは大幅な商品ラインアップの拡充を図る予定でございます。

3 背景

- ① 当社は平成 20 年 10 月、Ocean0309B.V. に出資を仰ぎ、その後、経営陣を刷新、養殖場の一部を閉鎖するなど生産体制の見直し、希望退職制度による社員数の削減、不稼動不動産の売却、在庫の圧縮、等々いわゆる各種リストラを断行し、積極的に企業再生に取り組んでおります。
- ② 今般、収益力回復による企業価値向上を目指すために、当期以降平成 25 年 10 月期の達成を目指す中期経営目標を策定いたしました。この目標は、経営陣、社員、外部コンサルタント、などとあらゆる角度より議論・分析を重ね、半世紀以上の歴史から積み上げられた当社の強み、ブランド力を見直した上に、今後の市場動向を加味して策定したものです。

4 中期経営目標

- ① 宝飾業界において消費者から愛されるトップブランドを目指します。商品のデザイン、店舗配置、販売能力、などトップブランドに相応しいレベルの維持または向上を図ります。
- ② 効率性、生産性を伴った収益力を回復します。小売部門を核とする売り上げ増加を達成し、10%以上の営業利益率を定着させ、安定的最終利益確保を目指します。

なお、目標は、宝飾製造販売に関わる一般情勢、更に日本を始めとする社会・経済情勢など外部要因を、現状予想し得る範囲の仮定の下に策定いたしており、これら要因の変化に対し当社は柔軟に対応して、その時点における適正な経営目標に改定する可能性がありますこと申し添えます。

5 その他

最後に、本日発表の決算短信におきまして「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することになりましたが、今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りながら、社員ともども、当社の企業価値向上を積極的に推進してゆく所存でございます。

以上

ロゴと現在の広告ビジュアル

TASAKI



新装 銀座本店 外観予想図



新装 銀座本店 店内予想図

